

紹介「九分」

【歴史】

九分では、1890 年ごろに金鉱が発見されたことで、町が発展し始め、町としての最盛期を迎えた。しかしその後、金鉱が閉ざされてしまい、金鉱業が急速に衰退し発展が停滞した。しかし 80 年代末に、侯孝賢監督が九分を「悲情城市」の映画のロケ地に抜擢したため、再び脚光を浴びるようになり、今日のにぎやか九分になった。

【位置】

九分は台湾の東北部に位置しており、一方は山に面し、一方は海に面し、その先の遠方には基隆山を眺めることができる。九分自体が上り坂の街路を中心に広がっており、階段式に立ち並ぶ建築物にレトロ調で洒落た街路がマッチし、何とも言えない独特な雰囲気醸し出す。長い歴史を背にヒューマニズム的な感覚が九分に懐かしさを持つ人気スポットと導いてくれた。

【歴史】

基山街は以前から九分にあるメインストリートとして知られ、今は観光客が必ず訪れる有名スポットでもある。ぎっしりとならんだ小さな店には、当地の伝統料理があり、台湾風の名産、工芸品や小物などが売っている。すべての物が観光客にとって、忘れがたい思い出となるだろう。